

利用上の注意

- 「令和3年経済センサス - 活動調査 製造業に関する結果（概要版）」（以下「産業別集計（製造業概要）」という。）は、製造業について「令和3年経済センサス - 活動調査」（以下「3年活動調査」という。）の調査結果のうち、以下の全てに該当する製造事業所（以下「事業所」という。）について集計したものである。
 - ・個人経営を除く事業所であること
 - ・従業者4人以上の事業所であること
 - ・管理、補助的経済活動のみを行う事業所ではないこと
 - ・製造品目別に出荷額が得られた事業所であること
- 令和4年5月31日に公表した「令和3年経済センサス - 活動調査（速報集計）」（以下「速報結果」という。）の製造業の結果とは異なっている。また、産業別集計（製造業概要）は速報結果である点にも注意が必要である。
- 調査結果のうち、製造品出荷額等については、表示年次における1年間の数値である。また、事業所数、従業者数については、3年活動調査及び平成28年活動調査並びに平成29年以降の工業統計は表示年次における6月1日現在の数値、平成24年活動調査は平成24年2月1日現在の数値、上記以外の工業統計は表示年次の12月31日現在の数値である。
各年次に実施した統計調査名とそれぞれの調査時点及び調査期間は以下のとおり。

統計調査名	経理外項目 (事業所数、従業者数)		経理項目 (製造品出荷額等)	
	調査時点	グラフの表示	調査時点	グラフの表示
平成24年活動調査	平成24年2月1日現在	H24	平成23年1月～12月	H23
平成24年工業統計	平成24年12月31日現在	H24	平成24年1月～12月	H24
平成25年工業統計	平成25年12月31日現在	H25	平成25年1月～12月	H25
平成26年工業統計	平成26年12月31日現在	H26	平成26年1月～12月	H26
平成28年活動調査	平成28年6月1日現在	H28	平成27年1月～12月	H27
平成29年工業統計	平成29年6月1日現在	H29	平成28年1月～12月	H28
平成30年工業統計	平成30年6月1日現在	H30	平成29年1月～12月	H29
令和元年工業統計	令和元年6月1日現在	R1	平成30年1月～12月	H30
令和2年工業統計	令和2年6月1日現在	R2	令和元年1月～12月	R1
令和3年活動調査	令和3年6月1日現在	R3	令和2年1月～12月	R2

- 3年活動調査においては、個人経営を含まない集計結果であることから、令和2年工業統計と単純比較ができないことに留意されたい。また、平成28年活動調査においては、事業所数、従業者数については、調査対象のうち、個人経営調査票による調査分を含んだ集計結果であるのに対し、製造品出荷額等は、これらの調査分を含まない集計結果である。

5. 従業者数の項目は、工業統計の集計における定義に合わせた形で再集計している（詳細は「用語の解説」を参照）。

6. 製造品出荷額等の経理事項については、原則消費税込みで把握しているが、一部の消費税抜きの回答については、「統計調査における売上高等の集計に係る消費税の取扱いに関するガイドライン（平成27年5月19日 各府省統計主管課長等会議申合せ）」に基づき、消費税込みに補正した上で結果表として集計した。

<ガイドライン>

https://www.soumu.go.jp/main_content/000777097.pdf

7. 各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。なお、比率は、小数点以下第2位で四捨五入した。

統計表中、「-」は該当数値なし、「0」は四捨五入による単位未満、「△」は数値がマイナスであることを示している。

「X」は、集計対象となる事業所が1又は2であるため、集計結果をそのまま公表すると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがある場合に該当数値を秘匿した箇所である。また、集計対象が3以上の事業所に関する数値であっても、集計対象が1又は2の事業所の数値が合計との差引きで判明する箇所は、併せて「X」とした。

8. 従業上の地位のうち雇用者の内訳について、「統計調査における労働者の区分等に関するガイドライン（平成27年5月19日 各府省統計主管課長等会議申合せ）」に基づき、「正社員、正職員」、「正社員、正職員以外」から「無期雇用者」、「有期雇用者（1か月以上）」の区分に変更を行った。

このため、雇用者の内訳については、時系列比較を行うことはできない。

<ガイドライン>

https://www.soumu.go.jp/main_content/000777099.pdf

9. 調査対象事業所は、「国税庁法人番号公表サイト」情報から、過去の調査では捉えていない外観からの確認では把握が困難な事業所を加えた調査名簿を基に調査を行った。

このため、従来の調査よりも幅広く事業所を捉えており、単純に比較ができない。集計結果の時系列比較を行う際は、十分に留意が必要である。

10. 時系列比較に用いた工業統計については、以下の点に留意されたい。

- (1) 平成29年に、調査日を6月1日（従前は12月31日）に変更したため、事業所数、従業者数については同年6月1日現在の数値、経理事項（製造品出荷額等）は調査時点の前年の1月～12月の1年間の実績である。
- (2) 工業統計については、国に属する事業所以外の全ての事業所を調査対象として集計しているが、活動調査においては、上記3. のとおり、個人経営を除く事業所を調査対象として集計し、接続しない年があることに留意が必要である。

11. 表で用いる産業名の略称は以下のとおり。

産業中分類名	略称	産業中分類名	略称
09 食料品製造業	食料	21 窯業・土石製品製造業	土石
10 飲料・たばこ・飼料製造業	飲料等	22 鉄鋼業	鉄鋼
11 繊維工業	繊維	23 非鉄金属製造業	非鉄
12 木材・木製品製造業（家具を除く）	木材	24 金属製品製造業	金属
13 家具・装備品製造業	家具	25 はん用機械器具製造業	はん用機械
14 パルプ・紙・紙加工品製造業	紙	26 生産用機械器具製造業	生産用機械
15 印刷・同関連業	印刷	27 業務用機械器具製造業	業務用機械
16 化学工業	化学	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子部品
17 石油製品・石炭製品製造業	石油	29 電気機械器具製造業	電気
18 プラスチック製品製造業（別掲を除く）	プラスチック	30 情報通信機械器具製造業	情報通信
19 ゴム製品製造業	ゴム	31 輸送用機械器具製造業	輸送
20 なめし革・同製品・毛皮製造業	皮革	32 その他の製造業	その他